



秋田市新屋ガラス工房(新屋表町)



○新屋まちづくり拠点施設整備事業▶4億3,643万円  
ものづくりの振興と地域交流の拠点として7月に開館します。ガラス作品づくりを体験できる工房のほか、ギャラリーやショップなどを併設します



○土崎まちづくり拠点施設整備事業▶4億9,025万円  
曳山や被爆倉庫の展示を中心に、みなとの歴史の伝承と地域交流の拠点を整備します。開館は平成30年3月の予定です

ともじくくらしともじくくらしともじくくらしともじくくらしともじくくらしともじくくらしともじくくらしともじくくらしともじくくらしともじくくらし

将来都市像

4.5ページで紹介した成長戦略のほかにも、「新・県都『あきた』成長プラン」で掲げた次の5つの将来都市像に沿って事業を行っています。そのおもなものを紹介します。

- ①豊かで活力に満ちたまち
- ②緑あふれる環境を備えた快適なまち
- ③健康で安全安心に暮らせるまち
- ④家族と地域が支えあう元気なまち
- ⑤人と文化をはぐくむ誇れるまち

「○」＝新規事業 「○」＝継続事業  
\*金額は千円以下四捨五入。

- 鳥インフルエンザ対策…大森山動物園における防鳥ネットの設置や隔離飼養施設の整備など ▶4千923万円
- 土崎港曳山行事ユネスコ無形文化遺産登録記念事業…(仮称)土崎港曳山行事伝統伝承会が実施する各種事業に支援▶800万円

●首都圏からの移住を促進…首都圏での移住相談体制を強化し、きめ細かな移住相談対応などを通じて移住を促進▶651万円

●山王官庁の緑地整備…市役所新庁舎が災害拠点として十分に役割を果たせるよう、隣接する山王官公庁緑地のバリアフリー化などを実施▶4千200万円

●緊急告知ラジオの導入…災害想定区域内にある福祉施設などへ、災害情報を受信できるラジオなどを貸与▶796万円

●救急隊の増隊

▶5千615万円



●介護予防・生活支援サービス事業▶4億2千541万円

●介護予防ケアマネジメント事業

▶9千274万円

●第44回東北総合体育大会の秋田市開催…8月を主会期として14競技を開催▶583万円

●学校給食費公費

計化…学校給食費を市の公金として管理する(公会計)方式を導入▶13億4千605万円



●中小企業融資あつせん事業

▶2億5千209万円

○きずなでホットしていあきた寄附金推進事業▶1億1千192万円

○地域おこし協力隊の活用…4月から2人を採用。秋田市での暮らしの良さや魅力を情報発信し、移住・定住の流れを生み出します。次回広報あきた4月21日号で紹介!▶1千36万円

○友好・姉妹都市交流推進事業…秋田市と姉妹都市の青少年が参加する青少年会議の開催など▶2千498万円

○ごみ集積所設置費補助▶1千117万円

○住宅リフォーム支援(中心市街地活性化基本計画区域内では10万円を補助)▶1億2千545万円

○老朽化した高梨台市営住宅の建て替え…平成30年3月完成予定。▶4億4千63万円

○自殺対策事業▶887万円

○感染症予防対策の充実

▶2千876万円

○消防力の強化▶2億3千676万円

○介護保険事業▶290億1千892万円

○障がい者福祉医療費給付事業

▶15億3千525万円

○(仮称)南部市民サービスセンター牛島別館の建設…平成30年度開設予定▶7億771万円

○(仮称)飯島南地区コミュニティセンターの建設…平成30年度開設予定▶2億7千739万円

○秋田商業高校のサッカーグラウンドを人工芝に改修

▶1億7千800万円

